【公表】　事業所における自己評価総括表　令和７年度

○事業所名	ライフくじらのおやこ			
○保護者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年3月8日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	18名	（回答者数）	13名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日	～	2026年3月8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11名	（回答者数）	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グループ全体の職種の違う様々な職員の知見を取りまとめて療育内容を構築し５領域すべての分野に関連する療育カリキュラムを提供している	より効果のある新しい療育方法等の検討を様々な情報を元に行っている	既存の療育内容についても内容を随時見直し、楽しく取り組める形になるようアップデートを行っている
2	基準人員より多くの職員を配置し一人あたりの職員がより密接に利用者と関われる環境を構築している	日々の利用人数や利用者の特性等を考慮し、適切な職員の数を配置している	状況に応じて増員等を検討し、より密度の高いサービスが提供できるよう検討していく
3	日々の利用者の様子について詳細に報告を行い画像などを用いながら状況や課題点の共有を図っている。また、相談や悩み事について電子連絡帳を用いて相談したいときにいつでも相談できる環境を構築している	相談や悩み事等についてはなるべく時間を置かず対応し解決を目指している	より保護者様方が使いやすく相談しやすいシステムを検討していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルや安全計画等の周知について不十分な部分がある	HP上やお便り等で適宜発信を行っているが見落としてしまったり気づいていない可能性がある	幅広い保護者様に対して周知が進むよう掲載方法や告知方法等の検討を行っていく
2	保護者会等の開催が出来ていない	様々な考えの保護者様がおり調整が難しい	開催方法等現状を考慮しながら検討を行っていく
3			

【保護者様】　放課後等デイサービス自己評価表集計結果　令和７年度

【公表日】　2026年3月11日

全18世帯 13世帯回答　　回答率　72.22%　　【事業所名】　ライフくじらのおやこ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見等	教室からの回答
環境体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか？	12	1	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切ですか？	13	0	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がされていますか？	8	5	0		
適切な支援	④	子どもと保護者の希望や課題をよく理解した上で個別支援計画が作成されていますか？	13	0	0		
	⑤	療育活動が固定化しないよう工夫していますか？	13	0	0	いつも良くしていただいてます。	温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。 お子様がより楽しく、意欲的に取り組んでいけるような療育活動や環境づくりに今後も努めてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
保護者への説明等	⑥	支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明がされていますか？	13	0	0		
	⑦	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っていますか？	13	0	0		
	⑧	保護者に対して面談や助言等の支援が行われていますか？	13	0	0		
	⑨	保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されていますか？	3	7	3		
	⑩	苦情や相談に対して迅速かつ適切な対応がなされていますか？	13	0	0		
	⑪	子どもや保護者との情報共有等のための配慮がなされていますか？	13	0	0		
	⑫	定期的におたより等で活動の内容や行事予定をお知らせしていますか？	13	0	0		
	⑬	個人情報に十分注意していますか？	13	0	0		
非常時等の対応	⑭	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルがあることを知っていますか？	11	2	0		
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練などの必要な訓練が行われていますか？	12	1	0		
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしていますか？	13	0	0		
	⑰	事業所の支援に満足していますか？	13	0	0		

【事業者】　放課後等デイサービス自己評価表集計結果　令和７年度

【公表日】　2026年3月11日

【事業所名】　ライフくじらのおやこ

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指定基準に対して約6倍ほどのスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準より多い人員配置を行えるように職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	各部屋の用途などわかりやすく視覚的に掲示を行い、特性等について配慮を行っておりますが教室が２階にあるためバリアフリーにはなっておりません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		教室内の毎日の清掃や子供たちが過ごしやすいよう遊具、設備等を設置しています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋及び間仕切り等を使用した個別スペースを備えています
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		研修及び会議に職員が積極的に参加しています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価内容を社内で共有し改善を行っております
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適宜ミーティング等で意見の聴取及び共有、改善等を図っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在行っておりませんが、必要に応じて検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		療育等の職員研修（内部・外部）及び関連する研修を年次計画に沿って積極的に行っております
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上に指定の様式で公表を行っております
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者に対する聴取や保護者への面談等を通してニーズ及び課題を把握し職員間で分析の上支援計画を作成しています
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を作成する際には様々な職種の職員から意見聴取を行い、その内容を反映しています
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		システム上で支援計画書を管理し必要な時に必要な職員が閲覧できるようになっています
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援記録等の標準的な様式を使用して共有を図り、アセスメントを行っています
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに則って支援計画及び新内容を決定しています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		複数の職員で活動内容の立案を行っております
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		保有している療育内容及び療育教材を調整しながら利用者が楽しめるよう配慮したプログラムを計画しております
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		適切なアセスメントを実施し特性や課題に応じて個別支援、集団支援を組み合わせた療育を実施しています

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングやコミュニケーションツールを使用してシームレスに情報の共有を行っております
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ミーティングやコミュニケーションツールを使用してシームレスに情報の共有を行っております
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		アプリ等を使用し一日の行動記録、支援の内容、様子等を記録しております
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半期又は必要に応じてモニタリングを実施し支援計画の内容を見直しております
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		利用者の主体性を尊重しながら日々のカリキュラム、月次及び年次予定において体験等の活動、地域交流、日常生活の充実のための活動を複合的に提供しています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者の自己選択の機会を確保したカリキュラムを構築し提供しております
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者及び児発管が参加しています
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて適宜連携を行っております
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校への訪問も含め必要に応じて適宜情報の共有を行っております
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じてデータの提供を求めています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		申し出があれば提供を行っています
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		必要に応じて適宜受講及び助言を求めています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		外部団体との交流を実施しています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	参加できていないケースもありますが必要に応じて参加を行っております
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳にて児童の様子等の共有を図り、現状や課題の共通理解を進めております
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じてご家庭での支援方法等に関するお話を実施しております
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書面を用いながら説明を行っています
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		同意を得る際には保護者に直接内容の説明を行っております
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて適宜面談及び助言等を実施しております

保護者への説明責任等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在実施できておりませんが開催方法等を踏まえて検討を進めていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		専任の職員が迅速に対応を行い、その内容については速やかに職員間で共有を行っております
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		便りやSNS等を使用して情報の発信を行っております
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きロッカーを使用するなどして留意しております
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者の特性や状況に応じた配慮を検討し適宜必要とされる対応を個別に実施しております
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在実施できておりませんが開催方法等を踏まえて検討を進めていきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		システム上で職員が閲覧できる出来るようになっており内部研修及び訓練等で理解を深めております。また、HP上にも各種マニュアルを掲載しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回避難訓練等を実施しております
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者への聞き取りや医師の指示書に基づき個別的に対応を行っております
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者への聞き取りや医師の指示書に基づき個別的に対応を行っております
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定められた安全計画の内容に則り研修やその他必要な訓練等を実施し安全管理の理解を深めながら支援を実施しております
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		ＨＰ上に作成した内容を掲載し、閲覧して頂いております
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		社内で定期的に会議を行い、事例の蓄積及び研修を行っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年次研修計画で定められた研修を通して理解を深めています
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の指針の対応に準じて適切な運用を行っております